

になりたいなあ～

せんぼんぐす 干本楠 MAP A-4
名前のように干本もの楠が群生してはいませんが、それに匹敵するくらい美しい景観が、大汝牟遲神社の参道脇に。樹齢は800年以上とも。



くろかわどうけつ 黒川洞穴 MAP B-3
縄文時代から平安時代に掛けて長期間住居として使用されていたという驚きの洞穴。神秘的な雰囲気です。



みょうけんじんじやくけいだいのきよせきぐん 妙見神社境内の巨石群 MAP A-4
境内に足を踏み入れると、一つ一つの巨石が社殿の後ろに並んでいるのに驚かされます。神社は別名石聚社とも呼ばれた時期もあることから、この巨石群も信仰の対象であったことが理解されます。



やいし 矢石 MAP A-4
畑の真ん中にぽつんと棒状の石が突き刺さっています。金峰山の神様と野間岳の神様(両方南さつま市)が互いのものを投げ合い争いをした際に、野間岳の神様が投げた石が外れて落ちたもの(と伝説)。



あんざんいわ 安産岩 MAP B-1
不思議なかたちをした岩です。この大きくもやさしそうな岩は子授け岩として信仰されています。ちなみに近くの湯之元温泉の入浴と併せての参拝が一般的です。



おこばちく たなだ 尾木場地区の棚田 MAP C-1
「休右衛門新田」の名がついた美しい棚田は、明治から昭和にかけての45年間、休みなく山林を切り開き続けた先人の苦労の証。守り伝えたい地域の美観です。

たいようのとう 太陽の塔 MAP B-4
昭和60年廃校の平鹿倉小学校の校庭の隅っこ。しかも便所の横に控えめに建っている「太陽の塔」。本物と同じくらいの大さきではないものの、存在感は抜群。昭和46年3月の卒業生が園上の先生の指導のもと制作。中に地域の石を詰めつけてくれたまじりに地域密着の美の存在です。



よあかし岩 MAP B-4
昔、このあたりで野宿をするようになった二人の旅人が、この岩を見て「誰かが手を加えたものだろうか」「いや、神様がお造りになったものだろう」と議論しているうちに夜が明けてしまいました。以来「よあかし岩」と呼ぶようになりました。けっこう大きいんです。



とくしげずいどう 徳重隧道 MAP B-2
延長は約67メートルで、アーチが鹿児島では珍しいレンガ造り。大正2(1913)年、鹿児島から川内への鉄道のトンネルとして建造されたもので、現在でも里道として現役で利用されています。ゆるやかなカーブに心惹かれます。



いいむれずいどう 飯牟礼隧道 MAP B-2
長さは約50メートルくらい、幅は車一台通過するのがやっとのかわいらしい隧道です。内部は出したら譲り合いの精神をいかんなく発揮できます。竣工は昭和6年と歴史は古く、開口部の形状が楕円でなく、シユツと尖がっているのが特徴です。



じゃのあな 蛇の穴 MAP B-3
昔、美女に化けていたという大蛇が通り抜けたという洞窟がこれ。その迫力からは美女は想像できませんが、大蛇は納得できます。その大蛇は通り抜けた後に空へと飛び上がったといわれます。



さんぼうづかのいっぽんすぎ 三方塚の一本杉 MAP C-1
ここまでたどり着くにはそれなりに歩くことになりま。ただ、眺める価値は十分にあるのが一本杉です。また杉には悲しくも人間と動物に関わりについて考えさせられる物語が伝わっています。これも詳細は歩いて現地の案内看板を読んでみましょう。

